



松江市の総合的な 発展に力を尽くします

最近の問い合わせで1番多かったのが、保育所入所の問題でした。少子化で児童数が減少しているものの、入所の規制緩和や働く保護者の増加によって入所希望者が増えています。市では定員増加などで対応しているもの、この4月には国の入所基準によって20名の待機児童を生じました。保護者の皆さんにとっては大変な問題です。

次に多かったのが、地域活性化策です。揖屋馬潟線の早期完成やJR東松江駅周辺の整備など、時代にあったスピード感のある整備が求められています。

平成28年度の松江市の大きな課題として、中核市移行や地方創生の市版総合戦略の展開による産業振興や人口維持への取り組みもありますが、生活に身近な課題にも視点を合わせつつ、松江市の総合的な発展に力を尽くしていきたいと考えています。

地方創生市版総合戦略に取り組む
当初予算などを可決

2月松江市議会

2月24日から3月24日までの30日間の会期で開会された2月定例市議会。平成28年度の当初予算額は一般会計976億7300万円で、地方創生市版総合戦略に基づく94事業

などを計上しました。また、補正予算では、地方創生加速化交付金該当事業に8300万円(国宝松江城プロモーション強化事業・食と観光誘客販売促進事業・圏域事業)などを計上しました。条例等の議案は、行政不服審査会条例の制定など関連3件、市職員の退職管理に関する条例制定、職員給与等の条例改正など。

議員提出議案である「地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みの強化を求める意見書について」と「地方公会計の整備促進に係る意見書について」は、全員が賛成して議決しました。そして、市長から提案された議案125件、承認2件を全て提案どおり議決しました。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

最近の活動から

揖屋馬潟線建設促進の 要望活動を実施

2月19日に島根県庁を訪問し、揖屋馬潟線建設促進会議の皆さんと、都市計画道路揖屋馬潟線の早期全線完成を願い、要望活動を行いました。まず、糸原県議会議長や松江市選出の県議会議員宛に要望書を手渡しました。次に、富樫県土木部長や土木部幹部の皆さんに要望活動を行いました。全線開通の日まで、今後も粘り強く運動を続けていきます。



早期全線完成を要望

星上峠の環境整備を実施



力を合わせて植栽しました

3月27日に、東出雲ライオンズクラブの担当委員長として「星上峠展望台環境整備事業」を実施しました。「星上峠(星上山展望台)」は、松江市東出雲町上意東にあり、松江市景観計画で指定された展望地です。今回の整備は、地元の皆さん15名、ライオンズクラブの会員15名が参加し、道路の路肩にツツジ84本の植栽作業や環境整備の作業をしました。素晴らしい眺望の星上峠に出かけてみませんか。

有害鳥獣対策の学習会を開催



対策を進めようといざつ

野々内が支部長を務める「松江市農政会議東出雲支部」主催の学習会「有害鳥獣対策」を、JASまね出雲郷店の会議室で30名超の参加者を得て2月19日に開催。東出雲町でも近年イノシシなどによる被害が深刻でその範囲も平野部にも及んでいます。県や市、市猟友会の協力を得て、県内や市内の被害状況、防除補助金、狩猟免許の取得などを学習しました。質問も予定時間を越えて沢山出され、被害の多さと関心の高さを示していました。この学習会によって対策が一つでも進むとよいと思います。

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.19を発行いたしましたので、ご覧いただけますようお願い申し上げます。

◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在65歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選



▶ ホームページ、
ブログはこちらから

一般質問

野々内は、2月定例市議会でも連続18回目の一般質問を行なっていました。

Q 市産木材の活用について

公共施設等の木造化や木質化などの達成状況と今後の予定を伺う。

山林の果たす役割は、木材の生産や水の浄化・貯留、土砂災害の防止、地球温暖化防止や生物多様性維持など多面的です。一方で、林業経営体の減は著しく、木材の生産、加工、消費と経営が成り立つようにすべきです。

本市では「松江市木材利用行動計画」を平成25年に定めています。2年間を経過し、公共建築物等の木造化や木質化などの達成状況と今後の予定を伺います。

矢野観光産業部長 この行動計画での平成26年度の市産・県産木材の利用量の達成率は18.3%と

の認定事業者は2社です。捕獲等の業務の委託契約等はないと伺っています。本市では引き続き猟友会に有害鳥獣の捕獲を依頼し、また松江市鳥獣被害実施隊を設置しました。

Q 保育所入所の待機児童について

急激な入所希望者増減に備えるクッションの役割を担うのは市立保育所の役割であり、そのための環境整備を図り待機児童を解消すべきと考えるが、所見を伺う。

20人の待機児童が解消されないという4月の事態です。しかし、子育て支援は地方創生を支える基礎であり、行政がその責任を全うしなければなりません。

急激な入所希望者増減に備えるクッションの役割を担うのは、市立の保育所しかないように考えます。市立保育所の保育士を雇用し施設整備を行う待機児童の解消を図るべきと考えます。緊急的な定員増など対策が必要ではないかと考えます。



なっています。また、平成27年度の目標値は240㎡に対し、平成27年12月末現在の実績数量は48・40㎡です。この要因は、計画策定以降の公共施設の整備時期の延期や規模の縮小などによるものです。

松江市産木材活用事業の状況と今後について伺う。

本市には、木造住宅新築等をした場合1件当たり最大20万円の助成制度がありますが、この状況と今後について伺います。

矢野観光産業部長 執行状況は、ほぼ毎年25件程度で推移していましたが、今年度は前年の4分の3ぐらいになると推測しています。利用促進のPRをさらに進めたいと思っています。

松浦市長 一定の定員の見直しをしながら状況を見ていくことと、私立保育所経営者の皆さんに今後の推移について理解をいただいて、定員を増やすこともお願いをしていきたいと思っています。



子どもは地域の宝(出雲郷幼稚園の終了式)

Q ホーランエンヤにおける環境整備について

中日祭の陸船行列に支障となる道路横断線路の迂回と、航路となる意宇川の浚渫について伺う。

野々内 松江城山稲荷神社式年神幸祭、いわゆるホーランエンヤは、平

松江市産木材活用事業の助成先に第2次産業も加えるべきと考えるが所見を伺う。

現行の助成事業は建築主だけが対象ですが、第2次産業にも助成金の一部を出すことで、地場産業の担い手が更なるやる気と利益を出し、地域振興の好循環を生み出すと考えます。

矢野観光産業部長 この制度は、建築主の負担軽減を図ることによって市産材を積極的に利用していたり、だいたいの制度です。



昨年秋に開催された「木」のイベント

Q 有害鳥獣の駆除対策について

本市の有害鳥獣被害対策事業補助金のうち、防護柵の更新電気柵中古柵が無補助になることを関係農家から聞きました。事実かどうか伺います。そして、本市における補助事業の考え方の所見を併せて伺います。

矢野観光産業部長 現在、新規の防護柵を設置して防護エリアを拡大したいという農家からの要望が多くなっており、今回、中古防護柵の支援制度は廃止をして、農地の防護範囲の拡大に対応することに重点を移したいと考えています。

また、今後の補助事業は、有害鳥獣の捕獲奨励補助の拡大、防護柵設置エリアの拡充に重点を置いて取り組みたいと考えています。

民間会社による認定鳥獣捕獲等事業者制度も始まったが、本市としての有害鳥獣の駆除対策を伺う。

矢野観光産業部長 現在、鳥根県

た行列ができるよう、現地調査を十分に行い、関係機関との調整を進め、準備をしたいと考えています。

土砂の堆積については、船の航行するルート川の水深などを十分に調査し、運航に支障を来さないよう対応していく必要があると考えています。

(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)

6月議会予定

6月15日(水) 本会議(会期の決定、委員長報告・質疑、討論・採決、提案説明)

20日(月) 一般質問

21日(火) 一般質問

22日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託

23日(木) 総務委員会

24日(金) 教育民生委員会

27日(月) 経済委員会

28日(火) 建設環境委員会

7月1日(金) 予算委員会

4日(月) 本会議(委員長報告、質疑・討論・採決)、閉会



前回、平成21年の中日祭